

予約本を「すぐ」に「近所」で借りられるワケ
図書館サービスを支える
作業所のしごと

日頃何気なく使っている地域サービスの裏で活躍している福祉作業所のしごと。今回は「図書館メール便」業務に密着しました！

予約本を「すぐ」に「近所」で借りられるワケ



予約した本は、最速で当日中に指定の図書館で受け取ることができます。

ほぼ毎日数千冊の本を配送
福祉作業所が支えるサービス

調布市内には中央図書館と10カ所の分館があり、私たちはそのどこからでも他の図書館にある本の取り寄せ、返却ができます。この11図書館の間を行き来する膨大な本の運搬を担っているのが福祉作業所の人たち。ほぼ毎日、午前と午後巡回して一日平均130箱（1つのコンテナに40〜50冊の本が入り、重さは最大20kgほど！）つまり5、6千冊の本を各図書館に届け、それと同じ位の量を回収しています。予約、返却本がたまる休館日明けには便を増やすことも。予約した本を近所ですぐに受け取れるのはこの「図書館メール便」があってこそ、なのです。

Start!

中央図書館

中央図書館地下書庫。職員が館ごとに予約本を振り分けます。



行ってきます！



宮の下分館



染地分館

分館に本を届けたら、ほぼ同じ位の量を回収し積み込みます。



高く積んだコンテナには本がぎっしり。10館分の荷物を地下駐車場に積み込み、いざ出発！

国領分館

調和分館

若葉分館

若葉分館に到着。効率良いルートで移動し予定どおりに巡回中。



緑ヶ丘分館

神代分館



国領分館。2階入り口へは階段しかないため、重いボックスを担ぎ人力で上り下り。これはハード！

佐須分館

深大寺分館



出入りの際は元気にあいさつ。用意された本を速やかに搬出。

富士見分館



大切な本たちだから重くてもしっかり持ち、丁寧に扱います。



富士見分館も階段で。コース終盤ですが、疲れもなんのその。2箱まとめて運ぶメンバーも！

中央図書館

Goal!



ただいま戻りました！

1日2回、スピーディーに巡回

文化会館たづくりにある中央図書館を午前9時過ぎに出発。10館を回って午前11時過ぎに戻り、各館から預かった本を返却。午後とも同じコースを回ります。

雨や雪でも休まない
大事なしごと

図書館メール便は、市内にある8つの事業所が分担していて、取材した日は「しごと場大好き」さんの担当。本がぎっしり詰まった重いボックスを、颯爽と運ぶ姿はさすが！各分館での5分ほどの滞在時間も、職員の方たちとの交流を楽しみながら、取材日は好天に恵まれましたが、雨や雪の日も休まずにこなされています。大切な本を濡らさぬようにと体力も神経も使っています。だからこそ「地域」の役に立っています。

